

日本医療機能評価機構主催の病院機能評価受審状況

●2016 年度受審

【受審日】2016年11月29日・30日

【受審種別】一般病院2（主たる機能種別） 緩和ケア病院（副機能種別）

【結果】「一般病院2」…認定 「緩和ケア病院」…認定

【認定期間】2017年2月19日～2022年2月18日

※改善すべき事項に該当する項目はなし

●2022 年度受審

【受審日】2022年5月18日・19日・20日

【受審種別】一般病院3

【経過と結果】

■2022年9月27日：補充的審査 受審

■2022年11月4日：「一般病院3」…条件付認定

（認定期間：2022年2月19日～2023年6月30日）

【改善指摘事項と指摘事項に対する取り組み】

1.4.2 SSI 及びデバイス関連サーベイランスの拡大に向け、貴院が補充的審査で提示した改善策を継続的に実践してください。

➡（評価を踏まえた措置内容）

SSI サーベイランスについて、以前より継続している大腸外科に加え、大半の外科系診療科を段階的に対象として追加している。

1.5.4 医薬品の禁忌・適応外使用において、説明文書の内容、管理部による把握・確認について貴院が補充的調査で提示した改善策を継続的に実践してください。

➡（評価を踏まえた措置内容）

対象となる医薬品についてリスク分けを行い、リスク分類の規定に従って使用時の報告書の提出を求めモニタリングを実施している。また、IC 委員会との連携を密にし説明文書の管理等を厳密に行っている。

3.1.6 診療記録の量的点検項目を拡充した上で、全退院患者に対する点検を確実に実施してください。

➡（評価を踏まえた措置内容）

量的診療録監査は、全退院患者について、診療情報管理室にて以下の8項目について量的診療録監査を毎日行っている。項目は、毎日のカルテ記載の有無・手術記録の有無・麻酔記録の有無・看護手術記録の有無・入院診療計画書の有無・退院サマリの有無・看護サマリの有無・退院支援計画書である。量的診療録監査結果は、診療情報管理委員会において審議し、各部署診療科にフィードバックし、病院管理者連絡会で報告している。

■2023年7月5日：確認審査 受審

■2023年9月1日：「一般病院3」…認定留保。6ヶ月後に再審査受審となった。

【改善指摘事項と指摘事項に対する取り組み】

1.4.2 全病棟対象のCAUTIサーベイランスを早急に開始し、継続的に実践してください。

➡（評価を踏まえた措置内容）

2023年7月の審査結果を受け、CAUTIサーベイランスの開始を前倒しすることを決定。

分母情報の取得のためにシステム改修が必要となり、2023年10月から可能となった。遡ることが可能であった2023年8月分から集計を開始。

他のサーベイランスと同様に、毎月の院内感染対策委員会での報告を開始した。

■2024年4月12日：再審査受審

【結果】認定

※参照：日本医療機能評価機構 HP

<https://www.report.jcqh.or.jp/detail/id=2108>